

リリースノート — ColorBox ファームウェア v1.0

Firmware for AJA ColorBox

全般

ColorBox ファームウェア v1.0 は、ColorBox の初回出荷バージョンです

ColorBox はこれまでにないインラインのアルゴリズムによる色変換と、LUT 処理機能を備えた高性能なポータブルデバイスです。ColorBox はライブイベントや撮影現場、ポストプロダクションなどの制作現場に、正確かつ詳細な色空間の変換機能を提供します。

ColorBox は幅広い HDR/SDR 規格の変換に対応しており、オペレーターがルックの読み込み、調整、保存や、制作関係者とクリエイティブベンダー間で色の正確性を確保するための参考イメージ作成にも簡単に対応できるようにします。

スタンダードダイナミックレンジ (SDR)、ハイダイナミックレンジ (HDR) およびワイドカラーガマット (WCG) の信号に対応し、12G-SDI を活用して強力な色処理パイプラインを備えた最大 4K/UltraHD HDR 4:2:2 10-bit 60p および 4:4:4 12-bit 30p を ケーブル 1本で伝送します。

機能および設定のガイドラインについては、インストレーション & オペレーションガイド (ユーザーマニュアル) を参照してください。最新版のドキュメントは、www.aja.com の [ColorBox サポートページ](#) でご確認いただけます。

特徴

v1.0

- ・ 最大 4K/UltraHD 60p 10-bit YCbCr 4:2:2 および 30p 12-bit RGB 4:4:4 に対応する 12G-SDI 入出力
- ・ 最大 4K/UltraHD 60p 10bit YCbCr 4:2:2 および 30p 12bit RGB 4:4:4 に対応する HDMI 2.0 出力
- ・ 1/2 ライン未満の超低遅延
- ・ ライセンスオプションの ORION-CONVERT および BBC HLG LUTs を含む、5つの色処理パイプライン
- ・ ビデオプレビューを備えたウェブブラウザベースのユーザーインターフェイス

- ・ 4K/UltraHD フレームキャプチャーとリコール (呼び戻し) 機能
- ・ 最大 4K/UltraHD までのテストパターンジェネレーターを内蔵
- ・ 処理された出力に重要な情報をオーバーレイ
- ・ プリセット管理機能:
各パイプラインごとに 10個のプリセットに加え、ColorBox 起動時に呼び出すプリセットを選択することができる “Startup Preset” 機能
- ・ アンシラリー (ANC) メタデータのパススルー
- ・ コンパクトなサイズ:
重量 1ポンド (約 454g)、4台が 1RU に収まるサイズ
- ・ リアルタイム制御に関する、Assimilate 社・CyanView 社・Pomfort 社・SKAARHOJ 社とのサードパーティパートナーシップを締結